

アセットマネジメント技術講習会 2017 開催報告

2017年8月28日（月）～30日（水）の3日間、京都大学産官学連携本部東京日本橋サテライトオフィスにて、アセットマネジメント技術講習会 2017ーアセットマネジメント技術の新潮流ーを開催しました。

2014年1月に、アセットマネジメントシステムの国際規格 ISO 55000 シリーズが発行されてから3年余りが経過し、2017年8月には、対応する JIS 規格が発行、さらに、2017年5月には、一般社団法人日本アセットマネジメント協会（JAAM）が設立され、12月にはアセットマネージャーの国際検定試験の開始が予定されるなど、日本国内のアセットマネジメントを取り巻く環境には新たな動きが生まれてきています。

本講習会は、2011年から、毎年継続して行われてきたもので、毎年、その時の状況に応じて内容を変えながら実施されていますが、今年は、理工図書株式会社により発行された書籍「実践 インフラ資産のアセットマネジメントの方法」を題材に、インフラ資産のアセットマネジメントを行う方法をステップに分けて、マネジメント技術の部分を中心に講習いたしました。さらに、ISO 55000 シリーズの概要や最新の動向、各分野におけるアセットマネジメントの適用事例等を紹介しました。

講習会には、ISO やアセットマネジメント業務に携わる実務者、アセットマネジメントに興味を持つ学生など約80名が参加し、真剣に講義に聞き入っていました。初日の講義終了後には懇親会（意見交換会）も開催され、活発な意見交換・交流が行われました。

講習会のプログラムは、以下の通りです。

第1日目 8月28日(月)	
10:30-10:40	開講挨拶 小林 潔司 (京都大学)
10:40-11:40	1時限目 「アセットマネジメントに何が求められるか」 小林 潔司 (京都大学)
12:40-13:40	2時限目 「ISO 55000シリーズによるアセットマネジメント」 田村 敬一 (京都大学)
13:50-14:50	3時限目 「アセットマネジメントの国際比較」 大島 都江 (京都ビジネスリサーチセンター)
15:10-16:10	4時限目 「アセットマネジメントの適用事例 下水道」 藤木 修 (京都大学)
第2日目 8月29日(火)	
10:30-11:30	1時限目 「アセットの整理、状態監視、故障・劣化モードと健全性評価」 河野 広隆 (京都大学)
11:40-12:40	2時限目 「インフラ会計と資産の耐用年数」 江尻 良 (京都大学)
13:40-14:40	3時限目 「適切な投資計画と資金戦略」 江尻 良 (京都大学)
14:50-15:50	4時限目 「インフラ資産の劣化予測とライフサイクル費用評価」 貝戸 清之 (大阪大学)
16:10-17:10	5時限目 「アセットマネジメントの適用事例 舗装」 貝戸 清之 (大阪大学)
第3日目 8月30日(水)	
10:30-11:30	1時限目 「リスク評価」 湯山 茂徳 (京都大学)
11:40-12:40	2時限目 「サービス水準の設定」 坂井 康人 (阪神高速)
13:40-14:40	3時限目 「PDCAサイクルと継続的改善」 坂井 康人 (阪神高速)
14:50-15:50	4時限目 「アセットマネジメントの適用事例 橋梁」 中谷 昌一 (京都大学)
16:00-16:10	閉講挨拶 中谷 昌一 (京都大学)



開講挨拶 小林潔司先生



第1日目講義「アセットマネジメントの適用事例
下水道」藤木修先生



第2日目講義「インフラ会計と資産の耐用年数」
江尻良先生



第3日目講義「PDCA サイクルと継続的改善」
坂井康人先生



会場の様子